ジェムコ日本経営 ニュースレター

叡智無尽



社長からのご挨拶

取締役社長　森岡琢

「つくれても、運べない」。製造業がこうした現実に直面する時代が到来しています。ドライバー不足や労働時間規制の強化により、これまで当たり前だった「必要な時に、必要なものを届ける」ことが、もはや当たり前ではなくなりつつあります。

しかし、物流危機を運送業界の人手不足や運賃上昇だけの問題と捉えては、本質を見誤ります。多頻度・小口配送、短納期要求、直前の計画変更。顧客対応力を高めるための取り組みが、結果として物流全体に過剰な負荷を生み出してはいないでしょうか。その背景には、営業・調達・生産・物流それぞれの「部分最適」があります。

今、問われているのは、単に「どう運ぶか」ではなく、「どう売り、どうつくり、どう届けるか」という事業活動全体の再設計です。これからは「運べること」自体が競争優位となり、物流の安定性が顧客から選ばれる条件にもなっていくでしょう。

本号の特集では、物流リスクの「見える化」を起点に、契約・業務の標準化、推進体制の構築など、荷主企業が取り組むべき実践策をご紹介します。物流を「コスト」から「競争力」へ。ジェムコ日本経営は、現場の実態を科学的に捉え、部門の壁を越えた変革を通じて、お客様の持続的な競争力強化をご支援してまいります。

https://www.jemco.co.jp/

ジェムコ日本経営
ニュースレター

目次

1ページ
【社長からのご挨拶】

2・3ページ
【トピックス】
差し迫る物流リスクにどう備える？
【物流危機を乗り越える防衛策の第一歩】

4ページ
【コラム】
運送会社からの値上げ要請、
その金額は妥当ですか？
【イベント情報】
セミナーのご案内



創業以来の信念を表す言葉であり、いかなる状況でも学びを止めず、知恵を磨き続けるという意味があります

トピックス

差し迫る物流リスクにどう備える？【物流危機を乗り越える防衛策の第一歩】

バリュー・クリエーションコンサルティング本部　本部長コンサルタント　今村正幸

なぜ今、物流管理の強化が必要なのか

2024年問題以降、トラックドライバーの労働時間規制や物流関連法改正により、企業を取り巻く物流環境は大きく変化しています。これまで運送会社任せで対応していた物流課題も、2026年からは、荷主企業自らが主体的に取り組むことが求められる時代となりました。特定荷主には物流統括管理者（CLO）の選任や中長期計画の策定、定期報告などが義務化され、物流管理は経営課題として位置づけられています。

また、2030年問題として、少子高齢化と現役ドライバーの引退加速（ドライバー不足）による、需給バランスの崩壊（運べない！）が懸念されております。

2024年問題
ドライバーの時間外労働が年960時間に制限され、輸送力の低下や「運べないリスク」が顕在化

2026年問題
現場の努力や運送会社任せではなく、荷主企業が主体となって効率化に取り組む責任を法制化

2030年問題
少子高齢化による労働人口の減少とトラックドライバーの高齢化・引退が重なり、最大で約25%（年間約7.2億トン）の輸送力が不足すると懸念される構造的な危機

政府は「流通業務総合効率化法」などの改正案を進めており、荷主企業に対し、荷待ち時間の削減や積み込みの効率化などに対し、「努力義務」から「法的な義務」に近い厳しい監視が強まる見通しです（下表参照）。

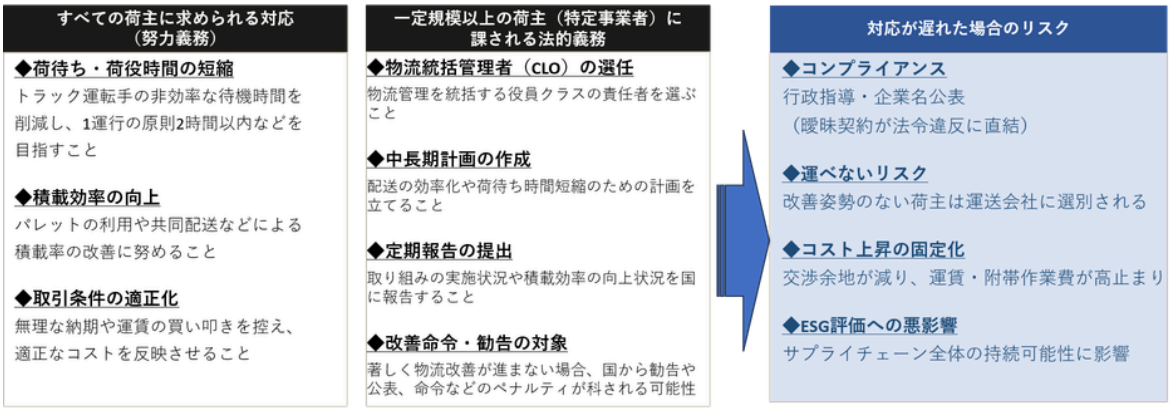
適切な契約や管理体制が整備されていない場合には、コンプライアンス違反や企業評価への影響も懸念されます。改善が進まない荷主企業は「選ばれない荷主」となり、物流確保そのものが難しくなる可能性があります。

また、多くの企業で、「物流の実態が十分に把握できていない」ということもあるでしょう。運賃や積載率、配送頻度、待機時間などのデータは存在していても、それを評価し改善につなげる仕組みが整っていないケースが少なくありません。ジェムコではこの状態を「見えていない物流リスク」と捉えています。

荷主企業に求められる対応 重要な3つのポイント

では、今後の物流リスクへの荷主企業に求められる対応としてはどんなものがあるのでしょうか。ジェムコでは、2026年問題対応と同様に「現場データの見える化」「契約・業務プロセスの標準化」「CLOを中心とした推進体制の構築」の3つが重要になると考えています。

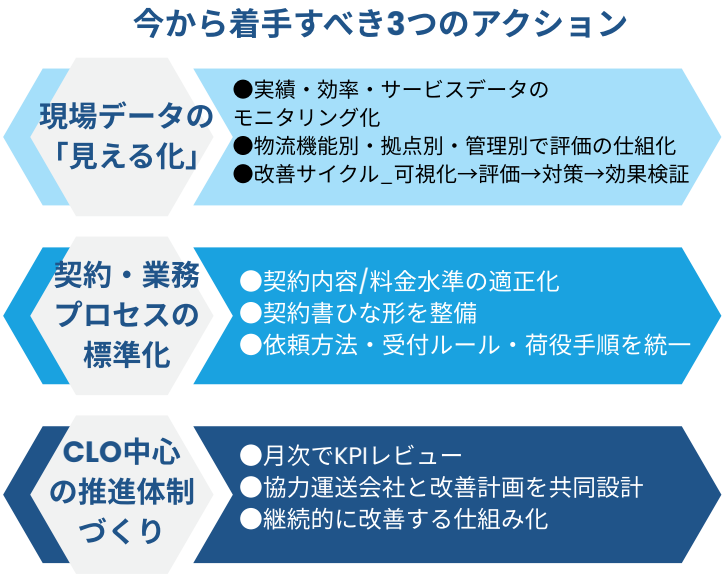
まずは現場データの見える化。きちんと現場実態を可視化、定量化して、様々な着眼点をもって評価を行い、課題を顕在化してアクションを行う必要があります。 ここでは、ただデータ化するだけではなく、きちんと改善につながる仕組みまでつなげるのがポイントとなります。



2つ目は、契約・業務プロセスの標準化。契約の標準化については、運賃・作業・待ち時間・付帯作業などをきちんと契約項目に盛り込んで、適切な適正な水準で契約を行いましょうということ。様々な書面関係も含めてやっていかないといけません。

最後の、推進体制の構築は、物流管理機能、人材、システム投資などについてです。 物流は、投資順位としては低くなりがちです。人もいなければシステムもない、ということが起こりがちですから、経営判断、戦略、優先順位を上げて取り組む必要があります。

この後は、その中でも特に、リスク可視化の基本、物流管理の考え方についてご紹介していきます。



物流リスク可視化のために「全ては見える化から」スタート

リスク可視化の基本は「見える化」です。これは「紙ベースの資料をデジタル化する」「取れてないデータを取れるようにする」ということだけではありません。データ化したものを、適切な着眼点や基準で評価し、トレンドモニタリングを行い、悪いところをあぶり出していくということがポイントになります。ここについては、実はジェムコ日本経営の得意分野でもあります。50年以上にわたるコンサル実績に基づく、弊社独自の着眼点、可視化の物差しがあります。これがあるからこそ、請求書や実績データなどを見るだけで、問題点を抽出することができます。

管理の基本アプローチ「情報」「基準」「仕組」の３点セット

次に、管理の基本アプローチということで、「管理すべき情報」と「良し悪し評価の基準」と「モニタリング評価の仕組」の３点セットで考える必要があります。必要な分析結果が得られるようなデータをまとめてデータベース化し、 そこでまとまったデータに対して、見ていくべき管理基準、指標っていうのを整備。それを日々のデータをモニタリングしながら、良し悪しを判断していく必要があります。原因系の指標まで細かく落とし込んで、実際の改善が直接実施できるような体系化というところまで進めていく必要があります。

可視化のためにデータの整備、データベース化も重要に

可視化の入り口として、物流データの整備とデータベース化も重要です。輸配送管理システム（ＴＭＳ）等を活用している企業でも、実績データ十分に活用出来ていない場合が多いように感じます。紙ベースでしか残していない場合は、それをデータ化していき、実態に関する情報を整理していくことが重要となります。

データベース化ができてくると、次に評価基準とモニタリングです。良し悪しを判断する指標や基準が重要となります。ここはジェムコの強みでもあります。先ほど改善の着眼点というお話をいたしましたが、いろんな着眼点から、指標や基準を設けることができ、悪さ（問題点）をあぶり出すことができます。物流に特化した様々な評価アプローチをご支援の中でお客様に提供し、その仕組みをそれぞれのお客様の運用の中に構築していくことで、モニタリングや改善のサイクル化に繋げ、その後も継続していただけるような体制づくりに協力するというのがジェムコの物流のコンサルの特徴になります。

◇◇◇

物流は単なるコスト部門ではありません。サプライチェーン全体の安定供給を支える経営インフラです。今後の企業競争力を維持するためには、物流管理を科学的に捉え、データに基づく継続的な改善活動を推進することが不可欠です。ジェムコでは、物流管理総点検から可視化基盤構築、契約改善、管理体制構築まで一貫してご支援しています。

物流でお悩みのことがありましたら、是非お声がけください。

コラム

運送会社からの値上げ要請、その金額は妥当ですか？
適正運賃検索サービス「ベスロジ.COM」

ジェムコ・コーオペレーションズ　東岡 洋

人件費や燃料費の高騰、ドライバー不足などを背景に、物流費の上昇が企業経営の課題となっています。一方で、運送会社から提示された運賃が妥当なのか、客観的な判断基準がなく、お困りではないでしょうか。

今回ご紹介する「ベスロジ.com」は、荷主企業が自社の運賃水準を客観的に把握し、適正な運賃の判断・決定をサポートするWebサービスです。

30年以上にわたる物流コンサルティングの知見と各種統計情報をもとに、発着地や車種などの条件を入力するだけで、地域の需給バランスも加味した参考運賃を簡単に確認できます。国土交通省が告示する「標準的な運賃」との比較や、燃料費・人件費などの動向の把握も可能です。

実際に、大手製造業では、ベスロジの算出運賃を社内の新たな判断基準として活用し、運送会社との価格交渉や社内決裁に役立てている事例もあります。

料金は1ライセンス年間22万円（税込）から。まずは1週間の無料お試しで、自社の輸送ルートの運賃水準を確認してみませんか。

詳細・1週間無料お試しのお申し込みは右記のアドレスからお願いします。※無料お試しには、一部機能・利用回数の制限があります。



https://info.beslogi.com/

イベント情報

今後のセミナー予定のご案内

ベテラン人材の設計ノウハウを組織資産へ変える
～技術・技能継承を実現する業務標準書改革～

日程　2026年11月25日（水）11:00~12:00

セミナーの詳細・申し込みについては、メルマガやHPで随時ご案内いたしますのでご確認ください
※予定は変更となる場合がございます

https://www.jemco.co.jp/seminar/

Contact Us

HPからのお問い合わせはこちら
https://www.jemco.co.jp/contact/index.html/

https://www.jemco.co.jp/

JEMCO
東京都港区新橋1丁目11-7
新橋センタープレイス 8階（THE PLACE 新橋内）
TEL:03-3500-3575